

平成22年度第1回理事会第1回合同委員会議事録

1. 日 時:平成22年6月14日(月) 13:00～15:00
2. 場 所:八重洲富士屋ホテル「2階桜・東の間」
3. 構成員:理事 24 名、監事 2 名、合計 26 名
4. 出席者:

会 長	浅井 光昭	ダンロップ	副 会 長	西村 潔	京阪
副 会 長	三治 明	正眼寺	副 会 長	石井 信成	那須野ヶ原
常任理事	岩瀬 照明	八千代	常任理事	笠原 泰夫	名古屋港・富浜
常任理事	加藤 義孝	名古屋広幡	常任理事	林 一郎	千葉よみうり
常任理事	藤下 亘理	よみうり	常任理事	森 章次	アオノ
理 事	伊藤 哲夫		理 事	久保田誠一	
理 事	小林 寛道		理 事	丹地 保堯	
理 事	中元紘一郎		理 事	宮内 清	
理 事	雪野 智世		専務理事	島田 忠次	事務局
監 事	森田 敬		監 事	下川 茂樹	奥津

特別委員	ジム・フレッチャー	榛名の森	特別委員	小島 俊	セントレジャー千葉
特別委員	西 治彦	八千代	特別委員	久保田英示	正眼寺
特別委員	鶴田 浩司	森林公園	特別委員	木暮 賢一	小杉
特別委員	高嶋 哲夫	西神戸	特別委員	六車洋二郎	コート・パール徳島
特別委員	伊藤 一政	水島			
陪 席	江田 文雄	下館	陪 席	高橋 孝明	新潟
陪 席	前田 和彦	森林公園	陪 席	浅田 雅彦	北神戸
陪 席	大田 英二	西神戸	陪 席	大田 英二	米子
陪 席	老村 興平	ダンロップ	陪 席	石橋 洋三	高松
陪 席	菅野 孝男	八千代	陪 席	保倉憲一郎	紫香楽
事業委員長	丸山 信久	事務局	事 務 局	中村 知則	事務局
事 務 局	久保 拓二	事務局	事 務 局	村松 洋子	事務局
事 務 局	小山内美枝	事務局	事 務 局	小路美智代	事務局

以上45名(理事18名、監事2名、特別委員9名、陪席10名、事務局6名)

5. 会議概要:

- (1)事務局より定足数について、理事会の構成員数は理事24名、監事2名、合計26名である旨の確認と、本理事会には理事18名、監事2名、合計20名の出席を得ている。従って定款第31条に定める成立要件を充足しており、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。
- (2)次いで、浅井会長が公益社団法人日本パブリックゴルフ協会 平成22年度第1回理事会・第1回合同委員会の開会を宣言した。
- (3)定款第30条に基づき浅井会長が議長に就任する旨の宣言、並びに、定款第32条に基づき議事録署名人の選任について議場から議長一任の許しを得て、下川茂樹監事、並びに森田敬監事を指名し、議場に諮った処満場一致で承認された。  
次いで、議事進行役に島田専務理事を指名し早速議事に入った。

6. 審議事項:

第1号議案:平成21年度事業報告書並びに収支計算書及び財務諸表(案)の件

笠原財務委員長より、第1号議案「平成21年度事業報告書並びに収支計算書及び財務諸表

(案)の件」について議案説明、並びに下川監事の監査報告後、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第1号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

#### 【決算概況要旨】

平成21年度決算概況は、経常収支は収入224,417千円(予算比▲24,086千円)、支出233,011(同▲12,991千円)、従って、当期損益は8,593千円(同+11,094千円)の赤字となった。主たる要因は、収入面は競技参加者人数の減少による競技参加料の収入減。支出面は新規競技のPGSDリーム・エイジゴルフ大会の収支が、イニシャル・コスト負担、参加人数の予算未達等により大幅赤字となった。

次いで下川監事より監査報告後、森田敬監事より業務監査の側面より、下記の通り発言があった。

#### 【森田監事発言要旨】

- ①J-sys登録料が統一できていない点について違和感を覚える。公益社団法人との立場からは極力早期に統一されることを望む。
- ②財政状況については、内部留保額が約3千万円との水準からするとこの先危機感を感じる。財務内容の改善に関して、競技参加者の増加対策、競技参加料の見直し、あるいは公益法人としてのメリットである寄付金の活用等、何らかの改善策が必要と感じた。
- ③公益法人移行は、国の認定団体になったことで今後は第三者の見る目が厳しくなると思われる。コンプライアンス、リスク管理、業務管理、更には従来の事業活動内容に関して見直しを行い、万全の体制を敷くことを望む。その意味では、事務局のマンパワー、職員体制の見直しも必要ではないか、との感想を持った。

#### 第2号議案:役員改選(案)の件

藤下総務委員長より、第2号議案「役員改選(案)の件」について、定款第24条により今次社員総会は役員改選期であるので、理事・監事候補者、並びに定款第20条第3項に基づき代表理事候補者、及び定款第42条に基づき顧問候補者の提案並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第2号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

次いで、理事・監事・顧問の被選出者全員、及び浅井理事より代表理事の就任につき承諾する旨の発言がなされた。並びに本会議欠席の被選出者については、予め徴求した就任承諾書によりその就任を確認した。

##### 1. 理事候補者(案)

理 事	浅井 光昭	(ダンロップ)
理 事	石井 信成	(那須野ヶ原)
理 事	笠原 泰夫	(名古屋港)
理 事	加藤 義孝	(名古屋広幡)
理 事	菅野 孝男	(八千代)
理 事	三治 明	(正眼寺)
理 事	島田 忠次	(事務局)
理 事	西村 潔	(京阪)
理 事	林 一郎	(千葉よみうり)
理 事	樋口 平和	(千葉よみうり)
理 事	藤下 亘理	(よみうり)
理 事	森 章次	(アオノ)
理 事	伊藤 哲夫	
理 事	岡本 伸之	
理 事	柿沼 正行	
理 事	川田 達男	
理 事	木村 妙子	

理事 久保田誠一  
 理事 小林 寛道  
 理事 小林 弘実  
 理事 丹地 保堯  
 理事 中元紘一郎  
 理事 宮内 清  
 理事 雪野 智世 (以上24名)

2. 代表理事候補者(案)

理事 浅井 光昭 (ダンロップ)

3. 監事候補者(案)

監事 下川 茂樹 (奥津)  
 監事 森田 敬 (以上2名)

4. 顧問候補者(案)

顧問 加藤 清 (名古屋広幡)  
 顧問 石井 幸成 (那須野ヶ原) (以上2名)

第3号議案:役付理事互選(案)の件

藤下総務委員長より、第2号議案「役員改選(案)の件」の社員総会での承認を前提として、定款第20条2項に従い、第3号議案「役付理事互選(案)の件」について提案後審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第3号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

次いで、各役付理事被選出者よりその就任につき承諾する旨の発言、並びに本理事会欠席の常務理事 HDCP 委員長 樋口平和氏については、予め提出された就任承諾書によりその就任を確認した。

会長(代表理事)		浅井 光昭	ダンロップ
副会長	競技委員長	石井 信成	那須野ヶ原
副会長		三治 明	正眼寺
副会長	J-sys 検討委員長	西村 潔	京阪
常務理事	総務委員長	藤下 亘理	よみうり
常務理事	総務副委員長	加藤 義孝	名古屋広幡
常務理事	事業副委員長	林 一郎	千葉よみうり
常務理事	競技副委員長	森 章次	アオノ
常務理事	HDCP 委員長	樋口 平和	大阪
常務理事	財務委員長	笠原 泰夫	名古屋港
常務理事	財務副委員長	菅野 孝男	八千代
専務理事		島田 忠次	事務局
	事業委員長	丸山 信久	事務局

第4号議案:各委員会正・副委員長交替(案)の件

第5号議案:特別委員委嘱(案)の件

藤下総務委員長より、第4号議案「各委員会正・副委員長交替(案)の件」について、委員会規程第6条に従い、役員改選等に伴う各委員会の正副委員長候補者案の提案、並びに審議要請があった。次いで、藤下総務委員長より、第4号議案の承認を前提として、第5号議案「特別委員委嘱(案)の件」について、特別委員運用規則第1条2に基づき、各委員会の理事以外の副委員長(ジム・フレッチャー競技副委員長、山口億孝 HDCP 副委員長、江田文雄コース管理副委員長)に、特別委員を委嘱したい旨の提案後審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第4号及び第5号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

		新	旧	推薦地区
競技委員会	副委員長	ジム フレッチャー(榛名の森)	石井信成(那須野ヶ原)	東日本
HDCP委員会	副委員長	山口億孝(ひぐち時津)	矢津田領治(鞍手)	西日本
コース管理委員会	副委員長	江田文雄(下館)	—	東日本
財務委員会	副委員長	菅野孝男(八千代)	岩瀬照明(八千代)	東日本

#### 第6号議案:平成22年度会議・行事日程の件

藤下総務委員長より、第6号議案「平成22年度会議・行事日程の件」について、平成22年度会議・行事日程は、平成21年度第4回理事会(22.3.18)にて承認済であるが、一部会場が決定した会議に関して、提案並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第6号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

会議	開催日	会場
第2回理事会・合同委員会	22. 9. 2(木)	東日本地区:
研修プレー	22. 9. 3(金)	ハーモニーヒルズゴルフクラブ(栃木県)
平成22年度スポンサー会議	22.10.14(木)	コート・ベール徳島ゴルフクラブ(徳島県)
第3回理事会・合同委員会	22.11.11(木)	中部日本地区:
		メルパルク名古屋
研修プレー	22.11.12(金)	場所:未定
予算編成正副委員長会議	23. 2.15(火)	場所:未定(中部日本地区)
研修プレー	23. 2.16(水)	
財務委員会	23. 2.25(金)	事務局
第4回理事会・行動委員会	23. 3.17(木)	場所:未定(西日本地区)
研修プレー	23. 3.18(金)	

#### 第7号議案:新規入会・退会正会員の件

藤下総務委員長より、第7号議案「新規入会・退会正会員の件」について、紫香楽国際カントリークラブから入会申込書の提出、並びに正会員南山カントリークラブから、退会届の提出があった旨の説明並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第7号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

##### 1. 新規入会正会員

紫香楽国際カントリークラブ ・18ホール ・6,827ヤード、パー72 ・コースレート なし ・開場:1974.10.20	所在地	滋賀県甲賀市信楽町長野 1532-2
	会社名	(有)スポーツコネクション 東京都渋谷区広尾 1-15-6 ヒーロービル 6F
	代表者	代表取締役 三品 智加良
	会員代表者	代表取締役 三品 智加良
	推薦者	ベアズパウ ジャパン カントリークラブ 西日本地区連絡協議会会長 京阪ゴルフ倶楽部 理事長 西村 潔

(1) 協会入会日 :平成22年6月14日。

(2) 入会金、年会費は「入会金及び会費規則」に従い下記の通り。

入会金:200千円

年会費:①初年度年会費:150千円[400千円×50%(姉妹コース減免)×9/12ヶ月]

②2年目以降:200千円[400千円×50%(姉妹コース減免)]

##### 2. 退会正会員

南山カントリークラブ 退会日:平成22年6月14日

### 第8号議案:事業承継承認の件

藤下総務委員長より、第8号議案「事業承継承認の件」について、西宮北ゴルフコースより、事業譲渡による経営主体交替の届け出があり、「入会及び会費規則」第2条3項に基づき、新経営会社の会員資格の継承、並びに入会金・会費の全額免除の特例措置に関して提案並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第8号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

1. 西宮北ゴルフコース :所在地:兵庫県西宮市山口町上山口 2192

	旧	新
経営会社	(株)住金西宮北ゴルフコース	つるやリゾート(株)
所在地	兵庫県西宮市山口町上山口 2192	兵庫県西宮市山口町上山口 2192
代表者	代表取締役 松野 良一	代表取締役社長 西村 文延
会員第代表者	代表取締役 松野 良一	ゴルフ事業課長 中土 靖
変更年月日	平成22年4月1日	

### 第9号議案:NPO日本ジュニア育成協議会個人会員変更の件

藤下総務委員長より、第9号議案「NPO 日本ジュニア育成協議会個人会員変更の件」について提案並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第9号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

1. 現会員 :石井 信成、島田 忠次
  2. 変更後 :島田 忠次、中村 知則
- (注)他に現在浅井会長が理事に就任中。

### 第10号議案:平成23年度競技日程の件

丸山事業委員長より、第10号議案「平成23年度競技日程の件」について、平成23年度競技日程は、平成21年度第4回理事会(22.3.18)にて承認済であるが、一部開催会場が決定した競技会について下記の通り提案並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第10号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

1. 平成23年度全日本開催会場

	担当地区	開催会場	開催日程(案)
パ選 (男子)	西日本	グランドオーク	23. 6. 8(水) ~ 9(木)
パ選 (女子)	西日本	ベアズパウージャパン	23. 6. 1(水) ~ 2(木)
ミッドアマ(男子・女子)	東日本		23. 9. 7(水) ~ 8(木)
シニア(男子・ミッドシニア・女子)	東日本		23.10.19(水) ~ 20(木)

2. 平成23年度地区決勝開催会場

	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森
パ選 (男子)	(A 地区)	名古屋広幡	(関西) ダンロップ	
	(B 地区)		(中国) 奥津	
	(C 地区)		(四国)	
	—		(九州) セントレジャー鞍手	
パ選 (女子)		名古屋広幡	アオノ	
ミッドアマ (男子・女子)	(A 地区)	森林公園	武庫ノ台	

	(B 地区)			
シニア (男子・ミッドシニア・女子)		正眼寺	北神戸	
ダンロップ杯			ダンロップ	—
ブリヂストン杯			西神戸	—
グランドマンズリー			姫路	—
ドリーム・エイジ				—

### 第11号議案:PGS 名義後援承諾の件

丸山事業委員長より、第11号議案「PGS 名義後援承諾の件」について、各競技主催者より PGS 名義後援依頼があり、後援競技会のガイドライン規則第6条により承認した旨の報告並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第11号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

競技名	主催者等
1. 日韓対抗中学・高校生ゴルフ選手権	日本高等学校ゴルフ連盟
2. 第32回 ALLKANSAI テレビ・アマチュアゴルフ選手権	株式会社サンテレビジョン

### 第12号議案:公益法人関連2団体入会の件

島田専務理事より、第12号議案「公益法人関連2団体に入会の件」について、公益社団法人移行に伴い、各種情報収集、会計知識等の習得、講習会参加等を目的に、下記公益法人関連専門2団体に入会する旨の提案並びに審議要請があり、島田議事進行役が議場に質疑の有無を質した上、第12号議案を議場に諮った処原案通り議決承認した。

1. 公益財団法人公益法人協会
  - (1) 東京都文京区本駒込2-27-15 電話 03-3945-1267
  - (2) 入会金 50千円、年会費 72千円
2. 全国公益法人協会
  - (1) 東京都中央区日本橋3-2-14 電話 03-3278-8471
  - (2) 年会費 66千円

## II. 報告事項

### 第1号議案:平成22年度ミッドアマ参加申込人数(暫定)の件

丸山事業委員長より、第1号議案「平成22年度ミッドアマ参加申込者人数(暫定)の件」に関して以下の通り報告がなされた。

1. 全体感:前年同日比で210名、3.7%増
  - (1) 21年度(6/5 現在) 5,616名
  - (2) 22年度(6/5 現在) 5,826名
 平成21年度最終は5,767名 ⇒平成22年度は6,000名を見込めるか。
2. 男女別:男子5,214名(前年比219名、4.4%増)  
女子 612名(前年比 9名、1.4%減)
3. 地区別:

	男子	前年度比	女子	前年度比	合計	前年度比
東日本	2,527	+ 98	314	+ 22	2,841	+120
中部日本	1,075	+ 91	106	+ 5	1,181	+ 96
西日本	1,550	+ 42	191	▲ 36	1,741	+ 6
北海道・青森	61	▲ 12	—	—	61	▲ 12
全日本シード	1	0	1	0	2	0

合計	5,214	+219	612	▲9	5,826	+210
----	-------	------	-----	----	-------	------

・東日本、中部日本地区:男女増加、西日本地区:男子増加、女子減少、北海道・青森地区:平成22年度も減少＝女子の集客を含めて歯止め対策必要。

#### 4. 開催コース数(会員コース90 : 東33、中部11、西41、北・青5)

予選開催数	22年度		21年度		合計		増減	
	男子	女子	男子	女子	22年度	21年度	男子	女子
東日本	30	16	30	16	46	46	0	0
中部日本	10	7	11	6	17	17	▲1	1
西日本	27	17	25	18	44	43	2	▲1
北海道・青森	3	—	4	—	3	4	▲1	—
合計	70	40	70	40	110	110	0	0

◎要望:予選未開催コース:男子20コース、女子50コース。協会3大選手権競技については、男子部門だけでも全コース予選開催を要請する。

### 第2号議案:ミッドアマ地区決勝・全日本エントリー枠割当の件

丸山事業委員長より第2号議案「平成22年度ミッドアマ地区決勝・全日本エントリー枠割当の件」に関して以下の通り報告がなされた。

#### 【報告概要】

参加者人数割合で極端に女性比率が低い点は例年と同じ傾向であり、(1)女子地区決勝・全日本にて欠場者が出た場合、競技不成立の懸念、(2)女子競技の2日目のカットオフが困難な状況、の2点は従来同様の問題点である。従って、従来の競技方法を踏襲し、エントリー枠は合計200名、男子160名、女子を40名とする。また、女子地区決勝2日目はカットなし36ホールストローク・プレーとする。

#### 1. 地区決勝

- (1)エントリー人数200名 :男子160名、女子40名。
- (2)2日目進出人数 :女子はカットなし。男子のカット人数は各地区競技委員長の判断。  
但し、東日本は男子カットなし。
- (3)各予選コースへの地区決勝進出人数の配分 :男女毎の参加人数比。地元開催枠の設置は各地区競技委員長の判断。

#### 2. 全日本

- (1)エントリー人数200名 :男子160名、女子40名。
- (2)地元開催枠(180名の10%) :西日本地区に男子14名、女子4名。
- (3)シード選手 :男女各1名、計2名。
- (4)一般枠 :男女合計180名、男子145名、女子35名。  
一般枠の各地区への配分は、男子、女子別の参加者人数総数の人数比。
- (5)2日目進出人数 :120名タイあり。男子96位、女子24位。  
男女配分は全日本エントリー人数比。

単位:人

	合計	男子			女子		
		東日本	中部日本	西日本	東日本	中部日本	西日本
地元開催枠	18	—	—	14	—	—	4
シード選手	2	—	1	—	—	1	—
一般枠	180	145			35		
合計	200	160			40		

(注)一般枠の地区別割当 :男女別に総申込人数比により配分

丸山事業委員長の報告後、島田専務理事より補足説明が行われた。

### 【島田専務理事】

会員コースは90あるが、メインの選手権競技をやらないコースがあるのは大きな問題。現在、3大メイン競技で18,500名が参加しているが、これで満足せず、将来的には2万人、3万人を目指すべき。予選会を開催しないコースへの対応については、8月の合同委員会で、協会の方針、会員の使命という観点から議論させていただく。

ミッドアマの全日本割り当てについては、男女構成比が歪んでいるため、160対40となる。ミッドアマの女性参加者の少なさ、男性の地区決勝、全日本進出の割り負け感についても今後議論すべき。今年度は前年度同様の競技方法を踏襲させていただく。

### 【質疑応答】

森常任理事(アオノ)より、全日本大会の2日目進出人数について、「男子96名、女子24名」と記載されているが、「男子96位タイ、女子24位タイ」が適切。また「男女配分は全日本エントリー一人数比」という表現は不要ではないか、との発言があり、島田専務理事が事務局で訂正すると応じた。

### 第3号議案:平成22年度事業・競技・ハンディキャップ合同委員会開催の件

丸山事業委員長より、第3号議案「平成22年度事業・競技・ハンディキャップ合同委員会の開催の件」について報告がなされた。

1. 開催日・場所 :平成22年8月26日(木) メルパルク名古屋(名古屋)
2. 予定議案 :パ選エントリー数減少歯止め対策等18議案。追加議案がある場合は事務局まで連絡。なお、各地区での事前意見調整を依頼する。

### 第4号議案:平成21年度クレーム報告の件

事務局より第4号議案「平成21年度クレーム報告」について説明がなされた。なお、協会全体で改善する必要があるものについては、8月の合同委員会にて議論したい。

### 第5号議案:調査研究事業「ゴルファーの健康調査(案)」推進状況の件

事務局より、第5号議案調査研究事業「ゴルファーの健康調査(案)」推進状況の件について報告がなされた。

#### 【概要】

1. 調査目的:「ゴルフと健康」の密接な関係を明らかにする。
2. 調査期間:平成22年10月
3. 調査対象:中部日本地区加盟コースの60名  
(①週1ゴルファー、②月1ゴルファー、③ゴルフをしない方、各20名)
4. 調査方法:9月上旬までに被験者の選定、説明会の実施、血液検査・アンケート調査の実施、歩数計を1週間程度装着活動量データ採取。

### 第6号議案:50年史編纂推進状況の件

事務局より、第6号議案「50年史編纂推進状況」について、50年史制作は平成21年度第4回理事会合同委員会(22.3.18)で承認を受け着手し、以下の通り進めている旨報告がなされた。

1. 業務請負契約締結 :平成22年4月16日
2. 現・元役員へのヒアリング実施 :平成22年4月26日
3. 業者より年史構成案の提案 :平成22年5月下旬
4. 年史構成案は次回理事会に提案予定。第1回年史制作委員会はその後予定。

### 【質疑応答】

浅井会長より、4月26日の現・元役員へのヒアリング会の出席者について質問があり、事務局より10名に案内、当日5名の参加を得た旨を説明した。



## 第7号議案:高ゴ連後援承諾の件

事務局より、第7号議案「高ゴ連後援承諾の件」について報告がなされた。

日本高等学校ゴルフ連盟(高ゴ連)は、平成22年度より高ゴ連主催・後援・派遣競技、及び日本ゴルフ協会主催競技・派遣競技以外は、年間出場試合日数を5試合16日に制限すること決定した。協会は高ゴ連に対してパ選男女の後援を依頼し、その結果パ選男女は高ゴ連後援競技として承認され、従って、出場日数にカウントされない競技となった。

この後、島田専務理事より以下の通り補足説明が行われた。

### **【島田専務理事】**

高ゴ連の「大会出場日数規定」の趣旨は、小中高生が平日にゴルフをしていて良いのかとの議論。我々としても、パ選開催日や練習ラウンドが平日でいいのかについて、今後検討せざるを得ない。パ選の土日開催は、開催コースの営業的側面に関連し難しい問題であるが、世の中の流れがこの様に変化している中で、我々としても議論が必要である。

## 第8号議案:アンケート結果報告の件

事務局より、第8号議案「アンケート結果報告の件」について説明がなされた。

### ①ゴルフフェア

3日間で1,300枚のパ選申込書を配布したが、ゴルフフェア来場者からのエントリーは6名と少なかった。しかし、競技会参加者以外の声を多く集めることができた。今後の広報活動の具体案については事務局にて検討する。

### ②雑誌広告

本年度より雑誌広告に申込書欄を復活したが、雑誌広告からのエントリーは合計29名だった。今後の広告方法、内容に更なる工夫が必要と思われる。

この後、島田専務理事より以下の通り補足説明が行われた。

### **【島田専務理事】**

パ選申込書の調査で、参加者の7割がメンバーコースに所属していることが判明した。参加人数の減少や、予選未開催コースが依然として多いことを考えると、メンバーコースで予選を開催したらどうか、という議論が成り立ってもおかしくない、そんな数字である。

## 第9号議案:ゴルフ場利用税廃止署名運動の件

事務局より、第9号議案「ゴルフ場利用税廃止署名運動の件」について、日本ゴルフ関連団体協議会より協力依頼があった旨の報告、並びに会員コースに協力要請があった。

1. 署名運動期間 :7月1日(木)～9月30日(木)
2. 目標署名者数 :200万人(各クラブ2,000名以上を目標)
3. 中間報告 :7月末

この後、島田専務理事より以下の通り補足説明が行われた。

### **【島田専務理事】**

過去にも一度署名活動を行っており、800万人の署名が集まった。その結果、一部の利用税が免除されたが、残念ながら未だ全面撤廃にはなっておらず、継続してサミット会議、ゴ連協がゴルフ場利用税の撤廃運動を推進している。浅井会長は2年前のサミット会議で、署名活動をするべきだと提言した経緯もあり、協会として各コース2,000名という目標を達成できるようにご協力願いたい。

## 第10号議案:会員証・協会旗・競技用横断幕デザイン(案)の件

事務局より第10号議案「会員証・協会旗・競技用横断幕デザイン(案)の件」について、公益社団法人移行に伴い変更する旨の報告がなされた。

## 第11号議案:賛助会員キャロウェイゴルフ倶との共同事業の件

島田専務理事より、第11号議案「賛助会員キャロウェイゴルフ倶との共同事業の件」について報告がなされた。

賛助会員 キャロウェイゴルフ倶より、キャロウェイゴルフ世界ジュニアゴルフ選手権日本予選立ち上げの提案があった。実現上の問題点は、①全米サイドの受け入れの実現性、②選手の派遣費用(30名で概ね1,500万円)、③派遣費用捻出のためのスポンサー確保、④米国サイドとの交渉、等何点もあるが、事前準備として、全米サイドと事前交渉を進めることをご了解いただきたい。なお、本議案は8月の合同委員会の議論を経て、理事会に付議することとした。

続いて、事務局よりキャロウェイゴルフ(株)との共同事業について説明が行われた。

1. ジュニアゴルファー向けに新たな競技会を立ち上げる。
2. 年齢別に6クラスに分け、学校が休みの期間に予選一決勝を行う。
3. 決勝競技上位3名程度(男女)を、サンディエゴで開催されるキャロウェイゴルフ世界ジュニア選手権に派遣する。

### 【質疑応答】

久保田理事 :参加できるのであれば、意義のあることだと思う。

浅井会長 :

アイディアは面白いが、多くの問題を含んでいる。開催期間(H22年は7/12-16開催予定)についても、欧米では夏休みだが日本では違う、等ハードルがたくさんある。

島田専務理事 :

競技方法、参加資格等、まだまったく見えていない。これから情報収集を行い、どうしたら問題を解決できるか提案して行きたい。まずは世界に出ていくといった“方向感”を確認していただき、ご了解を得られれば問題解決に向けた準備をする。

石井副会長 :

ジュニアに関しては、問題は色々あると思うが、新しい取り組みとしてはよいのではないか。

森田監事 :

ジュニアに関する事例を報告したい。朝日新聞によるとリーグとPGAが共同で、夏休みに親子スポーツ合宿を実施する。これはサッカー、並びにゴルフという生涯スポーツを楽しむ基礎作りを行うことを目的とした企画で、ユニークな発想だと思う。

森常任理事 :

世界ジュニアの年齢クラス分けが細かすぎる。協会から選手を派遣するとなれば、ジュニア競技を立ち上げなければならない。パ選優勝者に全米オープンなど世界への道が開かれれば、ジュニア選手の参加は増えると思う。

以上を以って、平成22年度第1回理事会第1回合同委員の全議題を審議し、いずれも原案通り承認された旨の報告後、島田議事進行役が議場に対して議事進行の協力に謝した。

## 7. 閉会挨拶

次いで、浅井会長より閉会挨拶があった。

本理事会は、公益社団法人第1号認定のおめでたい話題に始まり、足許を見たら財政は赤字、特にパ選の参加者数が苦戦という悩ましい現実から、世界大会に選手を派遣するという夢の様な話まで幅広かった。本当にアメリカに行けるのなら、イメージ付けのためにどのような方策を考えていけばいいのか、皆で絵を描けたらいいと思う。

今般の公益化で強く思ったのは、PGSをもっと皆に認知して欲しいということ。「パブリック」を正當に認知してもらうために、何をすべきかを考えなければならない。そのためにはまず、PGSの組織、活動の中で改善すべき点はキチンと改善する必要がある。競技会が公益性有りと認定された訳だから、全コースでの予選開催を目指そうという議論はうなずける。各コースそれぞれ問題を

抱えていると思うが、問題を徐々に解決しながら参加していったらいい。また、現在の財政状況を改善しなければならない。

これらは一度にできることではない。歩みを止めることなく整理しながら基礎を固め、将来に対する夢をどう実現するかということ、順を追って議論していきたい。

ゴルフ場利用税は、ゴルフ業界全体の問題である。後藤田氏の時代に「70歳以上、18歳未満非課税」で手を打ってしまったが、次に消費税が引き上げられる時が非課税にできる最後のチャンスになるのではないか。その辺を見越しての署名活動だと思うので、ご協力をお願いしたい。また同時に、一般ゴルファーに、税金をとられていることをどうやって知らせるかについても考える必要があるのではないか。

本日は、悩ましい問題から夢のような話まで幅広い議論ができたことに感謝する。

## 8. 閉会宣言

浅井会長が、平成22年度第1回理事会・第1回合同委員会の閉会を宣言し終了した。

以上

上記の議事を確認するため、議長及び議事録署名人は、次の通り署名押印する。

平成22年6月14日

公益社団法人日本パブリックゴルフ協会

議 長 浅 井 光 昭 印

議事録署名人 下 川 茂 樹 印

議事録署名人 森 田 敬 印